

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2024.2 VOL.112



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>



webサイト

けんちく茨城

2024.2.1 第112号

page	目次	
01	会長年頭あいさつ	建築業界の魅力度アップ
02	報告	令和6年新春賀詞交歓会
06	建築作品紹介	就労支援事業所 わーくるほーぷ
08	先輩会員をたずねて	
10	ようこそフレッシュマン／Welcome Freshman!!	
12	国土交通大臣表彰・功労者表彰・連合会会長表彰	
	支部活動報告	
13	ひたちなか支部	「常総市、境町周辺施設見学会」
14	県央支部	第111回建築セミナー 「世界遺産オルチャ溪谷・ ありきたりの文化的景観」
15	鹿島支部	「東京 お台場 パナソニックセンター 東京・そなエリア東京・浜離宮」見学会
16	筑西支部	建築士会の認知度アップと会員拡大の種まき
17	常総支部	常総ふるさとまつりに参加して
18	石岡支部	建方実演・模擬上棟式
	委員会活動報告	
20	総務・企画委員会	建設フェスタ2023報告
21		第65回建築士会全国大会「しずおか大会」を終えて
22	研修委員会	「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」解説講習会
23	会員委員会	角川武蔵野ミュージアム見学・川越市散策
24	情報・広報委員会	応急危険度判定士養成講習の開催
26	青年委員会	とうかい子どもキャンパス 建築士と作ろう！ストリートファニーニチャー うしく土曜カッパ塾 おうち模型で「まちづくり」 わくわくセミナー 「飲食店を計画する時に必要なことを知る」 「蓄熱」の考え方を知る 「これからの法改正」 ラブアークセミナー 「廣澤美術館見学&美術鑑賞のコツを学ぶ」
28	女性委員会	
題字	大井川 和彦 茨城県知事	
表紙	就労支援事業所 わーくるほーぷ 設計・監理 株式会社 scale 一級建築士事務所	
発行	令和6年2月1日	
次回	令和6年6月10日予定	
部数	1,950部	
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail kyy05413@nifty.com	
編集	情報・広報委員会	webサイト
	川又 晴彦 梅原 郁夫 児玉 欽司 成田 孝成 軽部 守彦 大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 澤畑 一成 山田 一博 茂垣 直樹 谷島 正憲	
デザイン・印刷	株式会社 高野高速印刷	



会長 年頭あいさつ

建築業界の魅力度アップ

一般社団法人 茨城県建築士会

会長 柴 和伸

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。昨年度はコロナ禍により延期していた創立70周年記念事業を無事に執り行うことができました。今日までの70年もの活動を支えてくれたのは、地域に根差した活動を継続されてきた各支部の会員の皆様、そして関係各位のご協力のたまものであると存じます。この紙面をお借りしまして深く感謝申し上げます。

元旦に発生した令和6年能登半島地震に関しまして、甚大な被害やインフラ被害等が確認され被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。今、まさに応急危険度判定活動や住宅相談、罹災調査などは地元並びに近隣県において実施されていますが、本県も要請があればすぐに対応していきたいと考えております。

さて、今年度は4年ぶりにすべての事業におきまして様々なセミナーや研修・講習・親睦事業や苗木配布活動などのイベントも開催することができました。これらの活動ができたことは、各委員会ならびに事務局の努力のお陰でございます。誠にありがとうございました。

そして、建築士の法定講習である定期講習や、技術講習会、わくわくセミナーやラブアークセミナーなどの各種セミナー等も対面での開催が例年並みにできました。建築パトロール事業や応急危険度判定士模擬訓練等の委託事業については、茨城県と協力し、また、各市町村から依頼のあった木造住宅耐震診断士派遣要請や空き

家対策無料相談会、特定空き家調査等についても各支部の会員の皆様の協力により要請に応えることができました。

一方、地域貢献活動では、建設フェスタや各自治体の産業祭などに参加して、CO₂削減事業として苗木の無料配布も20か所で約2,200本位と例年並みに配布して開催することができました。今後も各支部や行政、建築関係団体と密に連絡を取り合って協力体制を強化するとともに、この地域貢献活動も実施し、一般社団法人として地域社会の健全な発展に寄与して参りたいと考えております。

今後の建築業界における課題としては、建築士も高齢化が進んでおり、それに伴う廃業や事業継承問題が大きな課題となっています。一方、若年者の参入は、建築士の試験の受験資格の改正によって受験者数の微増もついに減少傾向となっていました。改めて建築業界も魅力度アップと職場環境の改善に取り組む必要性を痛感しています。今後も関係団体の交流を深めながら緊密に連携してまいります。

困難な時代にあって、本県がさらに発展するためには、社会構造の変化にいち早く対応し皆が協力して新しいことに挑戦していく必要があります。本会としても、地元に着目した建築士ならではの発想を持ち寄り、建築文化の発展の一翼を担えるよう努力してまいります。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

報告 令和6年

新春賀詞 交歓会

令和6年1月15日(月)

4年ぶりの開催となった恒例行事、第19回新春賀詞交歓会が1月15日(月)ホテルレイクビュー水戸において開催された。今回は、来賓、会員・賛助会員合わせて280名が参加した。武村副会長の開会のことばの後、主催者代表で柴会長から挨拶があり新しい年に向けた抱負を述べられた。来賓挨拶では、大井川知事、

田所衆議院議員、高橋水戸市長、白田県議会議員、伊沢県議会議員、石井県議会議員からご祝辞を頂いた。その後、茨城県建設業協会の石津会長のご乾杯ご発声により祝宴に入り、例年のことながら支

部の枠を超え、来賓
ならびに賛助会員

の方々との交流は大変有意義なものとなった。祝宴のメインイベントである抽選会には、会員ならびに賛助会員より多くの景品の提供を頂き、最後に㈱フジクリーン茨城様からご提供頂いた50型液晶テレビが当たるなど大いに盛り上がった。祝宴は盛況のうちに進行し、高槻副会長の中締めにより賀詞交歓会は終了した。辰年は「辰巳天井」という格言があります。会員の皆様にとってより良い年となることをお祈り申し上げます。



大井川 和彦
茨城県知事



田所 嘉徳
衆議院議員
本会顧問



高橋 靖
水戸市長
本会顧問



白田 信夫
茨城県議会議員
本会顧問



伊沢 勝徳
茨城県議会議員
本会顧問



石井 邦一
茨城県議会議員



柴 和伸
本会会長



武村 実
副会長
(開会)



高槻 一雄
副会長
(閉会)



令和6年 第19回新春賀詞交歓会参加者名簿

※当日出席された方のお名前を掲載しています

ご来賓

茨城県知事	大井川和彦	茨城県板金工業組合 理事長	野溝 年成
衆議院議員	田所 嘉徳	(一社)茨城県設備設計事務所協会 会長	菊地 繁
水戸市長	高橋 靖	茨城県行政書士会 会長	古川 正美
茨城県議会議員	白田 信夫	(一社)茨城県消防設備協会 会長	入江 元
茨城県議会議員	伊沢 勝徳	茨城県管工事業協同組合連合会 会長	石田 賢司
茨城県議会議員 兼 (公社)茨城県森林・林業協会 理事長	石井 邦一	茨城県鐵構工業協同組合 理事長	安達 次雄
茨城県土木部都市局長	池田 正明	(一社)茨城県空調衛生工事業協会 会長	植田 俊二
茨城県土木部都市局建築指導課長	山田 陽一	茨城県防水工事業連合会 会長	神原 陽一
茨城県土木部営繕課長	木村 忠夫	(一社)茨城県貯水槽維持管理協会 会長	小田部 智
茨城県土木部都市局住宅課長	朝日 光昭	茨城県左官工業連合会 会長	豊田 一雄
水戸市都市計画部建築指導課長	井原 孝志	(公社)茨城県水質保全協会 理事長	成田 浩明
日立市都市建設部建築指導課長	鈴木 清志	茨城ディスプレイ協同組合 理事長	伊藤 三男
(一社)茨城県建設業協会 会長	石津 健光	(一財)茨城県建築センター 理事長	小沼 紀男
(一社)茨城県建築士事務所協会 会長	舟幡 健	(公社)茨城県宅地建物取引業協会 副会長	車 孝則
茨城県木材協同組合連合会 代表理事	野上 満正	(公社)茨城県測量・建設コンサルタント協会 副会長	伊藤 吉正
茨城県電気工事業工業組合 理事長	浅野 晃司	(一社)茨城県電設業協会 副会長	大島 浩
茨城県塗装工業組合 理事長	佐藤 雅彦	茨城県解体工事業協同組合 専務理事	足立 誠一
			(敬称略、順不同)

正会員

会長	柴 和伸	鹿島支部	中蘭 薫	県央支部	小室 晶	県央支部	柳下 文江
副会長	武村 実	県央支部	青木 昌弘	〃	齊藤 栄治	〃	横須賀 孝
〃	高槻 一雄	〃	浅子 明美	〃	酒寄 光一	〃	吉田 雄一
〃	川又 晴彦	〃	浅野祐一郎	〃	篠根 玲子	〃	和田 淳一
常務理事	潮田 充	〃	安達 芳男	〃	杉本 孝一	〃	渡辺 章夫
〃	久保田吉文	〃	飯島 隆	〃	鈴木 弘	県庁支部	野澤 謙次
〃	益子 一彦	〃	池崎 栄二	〃	関根 貴雄	〃	増澤 敬
〃	中山 和朗	〃	井坂 光宏	〃	田中 和明	〃	山田 茂
〃	梅原 郁夫	〃	石井 邦明	〃	田中 健一	行方支部	橋本 照雄
北茨城支部	篠原 武司	〃	石井 裕子	〃	田中 正己	〃	本澤 幸一
久慈支部	市川三和子	〃	石川 啓司	〃	富田 正美	〃	谷田川治彦
〃	梶 ひろみ	〃	石黒 洋子	〃	中山 真矢	鉾田支部	鎌田富士夫
日立支部	石黒 幸喜	〃	市毛あすか	〃	根本 勝義	〃	桐原 栄
〃	清水 雅史	〃	稲沼 修二	〃	根本 昌義	〃	田崎 重司
〃	松山 恒男	〃	大鐘 孝弘	〃	根本洋一朗	〃	二川 映一
〃	三澤 俊介	〃	大部 淳一	〃	塙 貴宏	古河さしま支部	岡安 利夫
ひたちなか支部	大内 賢一	〃	大山 早嗣	〃	塙 秀之	〃	小林 澄夫
〃	上久保博隆	〃	小川 憲一	〃	塙 万治	〃	長塚 威
〃	清水 洋一	〃	小沼 隆志	〃	平沼 清美	桜川支部	飯島 一則
〃	立花 秀之	〃	加藤 宜之	〃	藤田 康広	〃	飯島 洋省
〃	山田 博則	〃	轡田 久恵	〃	益子 一彦	〃	石島 隆
鹿島支部	内芝 良吉	〃	工藤 恵	〃	松下 理	〃	市村 洋
〃	高橋 文男	〃	小林 要	〃	宮本 久	〃	鈴木 孝和

桜川支部	高橋 悦也	坂東支部	増田 和夫	北相馬支部	小磯 俊明	筑波支部	若柳 綾子
〃	高宮 英司	結城支部	大島 則之	〃	広瀬 祐一	土浦支部	石坂 健一
〃	比企 正信	〃	小貫 廣利	〃	宮崎 清	〃	枝川 良昌
〃	藤田 昭一	〃	小林 桂治	筑波支部	相澤 晴夫	〃	大野 雅明
〃	古橋 明	〃	小谷野栄次	〃	青木 孝二	〃	鈴木 啓之
〃	渡辺 清一	〃	立堀 孔一	〃	色川 充	〃	関根 美宏
下妻支部	内山 学	〃	北條 豊之	〃	潮田 浩	〃	塚本 美明
〃	軽部 守彦	石岡支部	貝塚 勇	〃	潮田 充	〃	豊崎 晋也
〃	須藤 直美	〃	久保田吉文	〃	沖山 哲夫	〃	永井 昭夫
筑西支部	上形 肇	〃	島田 哲	〃	河野 正博	〃	増山 栄
〃	中山 和朗	〃	武居 公江	〃	斉藤 保弘	竜ヶ崎支部	秋山 稜
〃	谷島 正憲	〃	富田 清一	〃	中泉 文夫	〃	成田 孝成
坂東支部	大久保正男	〃	三輪 清司	〃	長谷川隆浩		
〃	名越 伝	〃	吉田 良一	〃	松田 祐光		
〃	野本 平晴	稲敷支部	新田 孝司	〃	茂垣 直樹		

賛助会員

アイジー工業(株)	斯波 大貴	グラフィソフトジャパン(株)	小松 宏峻	ナブコシステム(株)	藤田 正美
アオキ(株)	青木 雄司	〃	渡邊 大輔	(株)奈良屋	田仲 邦彦
(株)アルク	高羽 紀幸	(株)建設未来通信社	小泉 孝司	日本ERI(株)つくば支店	村島 充裕
(株)安心確認検査機構	滑川 浩一	(株)建友根本	根本 学	日本クリエート茨城	衣笠 勤
〃	萩元 悠文	コスモ綜合建設(株)	池田 勇夫	能美防災(株)茨城支所	泉谷 隆治
〃	山崎 睦	〃	池田 大輔	常陸大理石(株)	佐川 功
(株)伊勢甚本社水戸プラザホテル	綿引 章博	〃	榑 貴人	(株)日立ビルシステム	加藤 貴浩
(一財)茨城県建設技術公社	皆川 和彦	〃	菅原 秋彦	〃	杉浦 克彦
(一財)茨城県建築センター	足立 信幸	斉藤菊正塗工(株)	齊藤 佳昭	〃	山口 史子
〃	蒨 康弘	三和シャッター工業(株)	道順 浩隆	(株)フジクリーン茨城	大竹 伸一
〃	鈴木真実子	(株)新日東	小澤 啓一	〃	大竹 昌士
〃	林 尚司	(株)新日東	鈴木 紀英	不二サッシ(株)	仙田 伸明
茨城県鉄筋業協同組合	大平 智彦	清和工業(株)	岡 衆司	(株)フジタビジネスマシズ	藤田 卓也
〃	堀江 浩二	〃	佐藤 正美	〃	宮部 正栄
(株)茨城県南木造住宅センター	中村 公子	〃	村木 宏之	ホテルレイクビュー水戸	栗野 一裕
茨城県林業種苗協同組合	大越 靖史	センター印刷(株)	鈴木 真吾	〃	寺島 正和
茨城寺岡オートドア(株)	大野 重典	(株)総合資格	大木 照道	前田製管(株)茨城支店	安藤 直哉
〃	川松 滋	(株)染めQテクノロジー	青沼 裕	(株)松本総建	松本 一幸
〃	松田 公建	(一社)損害鑑定支援協会	内田 貴士	三谷セキサン(株)茨城営業所	小山 秀人
植田防水工業(株)	栗原 信	〃	河原 良太	ミナト防災通信工業(株)	石井 浩二
(株)エスアールエスディービー社	須藤 裕市	〃	前野 光昭	〃	関根 淳
S・E・C総合(株)	庄司 泰世	大建工業(株)	大井 貴志	(有)三企地盤	小沼 功
大坂ガスケミカル(株)	小磯 克也	(株)高野高速印刷	八文字孝志	(株)LIXIL	石井 朝康
(株)角藤 水戸支店	木村 雅人	高橋商事(株)	高橋 龍平	〃	大林 正明
〃	小林 聡	タニコー(株)	小川隆太郎	〃	生稲 修吾
〃	高部 伸一	〃	小坪 拓博	YKK AP(株)	鴨井 宏幸
〃	村田 弘就	千代田工営(株)	北井 亮一	〃	田口 和希
株木建設(株)茨城本店	川崎 哲史	〃	三沢 孝治	和知商事(株)	石川 弘幸
〃	村島 俊太	(株)千代田興業	鹿野 達也	〃	和知 紀良
〃	柳橋 一明	TOTO(株)関東支社	木村 哲也		
(株)菊正塗装店	鈴木 章	ナブコシステム(株)	千葉 晃		



就労支援事業所 わーくるほーぷ

建築作品紹介

設計主旨

法人設立当初からの夢である施設設計の依頼を受け、土地探しの段階から協力し、多くの時間を共有しながら建築や施設の運営方針についての考えを伺った。このプロジェクトの目的は、「障がいのある方が笑顔で安心して生活できる環境」を整備することであり、1期工事では就労支援事業所（わーくるほーぷ）とレストラン（にじいろカフェ）を整備し、2期工事としてグループホームを整備する計画である。将来の3期工事の計画にも配慮し、周辺環境との調和を大切に、障がい者の生活支援の拠点の一つとして、地域の皆様に親しまれつつ、同法人の本部としてのシンボリックな建築を目指した。

法人の想いを込めたシンボリックなデザイン

法人名である「まつぼっくり」にちなみ、まつぼっくりの松傘を連想させる大小3つの屋根を就労支援事業所とレストラン、地域交流スペースに架け、屋根が互いに支え合いながら外部環境より利用者を優しく守るデザインとした。デザインに込めた想いは、松傘（まつぼっくり）に守られた内部空間で、利用者がお互いを優しく支え合いながら生活して欲しいと同時に、地域のシンボルとして地域の皆様に親しまれて欲しいという想いを込めた。

回遊できる柔軟性のある平面計画

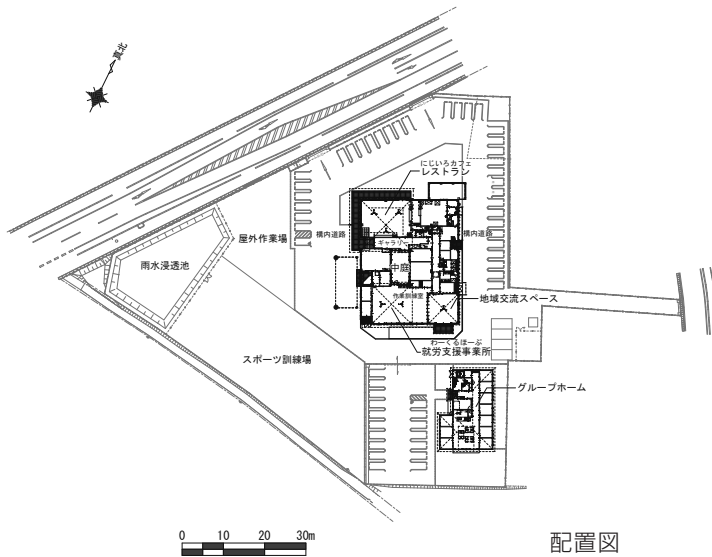
中庭を中心に居室を配置することで内部の環境を向上させ、さらにその外側に回遊できる廊下を配置し、就労支援事業所、レストラン、地域交流スペースをつなぐことで、開放的で明るい、開かれた施設となるような計画とした。また、構造は鉄骨造（両方向ラーメン）とし、耐火性、耐震性を確保しつつ、将来の間取り変更にも対応できる計画とした。就労支援事業所では、障がい者が一般企業からの業務委託を訓練として有給労働し、一般企業への就職を目指す施設であるため、大小様々な業務依頼を同時に複数行える作業訓練室が必要になる。本計画では、視認性の良い広い作業スペースに複数の入出荷動線の確保、繁忙期には作業スペースとして利用できる地域交流スペースを隣接させた。さらに、大きな空間や人混みの苦手な利用者のための小規模作業スペースも配置した。そして、レストランは入口からの動線上にギャラリーを配置し、就労支援事業所利用者の作品の発表できる場を設け、客席が開放感のある窓際となるような計画とし、空間の有効利用に努めた。



男子トイレ



食堂・レストラン・多目的ホール



配置図

■建築概要／就労支援事業所 わーくるほーぶ&にじいろカフェ

- 所在地：茨城県東海村須和間174番地13
- 主要用途：就労支援事業所+レストラン
- 敷地面積：6,458.87㎡
- 建築面積：792.58㎡
- 延床面積：666.09㎡
- 階数：地上1階
- 構造：S造
- 竣工年月：2021年9月
(設計期間：2019年1月～2020年10月
工事期間：2020年12月～2021年9月)
- 建築主：NPO法人まつぼっくり
- 設計・監理
建築：株式会社scale一級建築士事務所(担当：関 康彦)
構造：株式会社オセヤ一級建築士事務所(担当：藤田 康弘)
電気設備：今野電気設計事務所(担当：今野 茂伸)
機械設備：株式会社池田設備設計事務所(担当：池田 照雄)
- 施工
建築：株式会社三共建設(担当：富田 功)
電気設備：栗原電業株式会社(担当：飯島 拓也)
機械設備：株式会社金長設備工業(担当：大部 英紀)

安全性と拡張性に配慮した配置計画

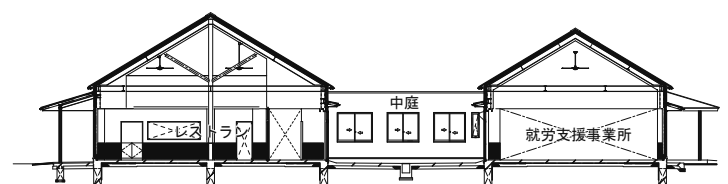
就労支援事業所やレストラン利用者、グループホーム、施設スタッフ、搬出入と異なる複数の動線を整理するために、構内道路を本体建築に沿い一周できるように整備した。方面別に複数台駐車できる大庇のある就労支援利用者の動線、敷地の出入口から近くにわかりやすい入口のレストランの動線、敷地の奥で静かな通過動線のない場所に配置したグループホームの動線、関係者用の敷地出入口や職員用玄関からの出入りできる施設スタッフの動線、同時に複数の場所から搬出入できる動線、スポーツ訓練場（3期工事予定地）をそれぞれ配置し、エリア分けをし、安全性と将来の拡張性に配慮した。



作業訓練室



北西立面図



断面図

Interview with seniors

先輩会員を訪ねて



高温・多雨 日本の住宅屋根に 穴開けてどうする

平戸 治夫 氏（土浦支部）

昭和17年生まれ／昭和60年入会／会員歴38年

天窓は要求されても断ります。と、断られ 憤慨して帰ったご夫婦が、10日後やってきました。

友人に、せっかく発注したのに断ったとんでもない工務店があったと話したら、天窓の欠陥を知ってるところだからもう一度頼めと言われて来たと言注。

こだわり、ビニールクロスは塩素ガスが出る。瓦屋根は重くなるため頼まれても使わない、凸凹のある家も受けない。総2階か平屋の切妻しかやらない。100%真壁工法。「木の家」に頼んでも断られるほうが多い事で有名になり、営業なし、で、15年間で46棟引渡し、12年前に太陽光発電のFITが出現。

住宅事業と合わせ、野立太陽光発電事業に特化し、現在に至っています。

昭和17年、逗子市で生まれ育ち、高卒、地元ゼネコンに入社。

24時間ストライキを執行して40年前、左遷、茨城に。

建設省発注の研究学園都市の施工管理。

協同組合「いばらき大工棟梁の会」は20社の代表が毎月勉強会を開いて早15年。

日本の伝統技術を継承し、住まいの町医者になりたいと活躍しています。最近若手の加入で活気も出てきました。今、新たに会員募集をしています。

理事長 土浦市 石坂工務店

TEL 029-823-8209



喜寿を迎えて

小笠原 正裕 氏（県庁支部）

昭和22年生まれ／昭和47年入会／会員歴51年

建築士の資格を取って50数年、今年77歳の記念の年、過ぎてしまえば、光陰矢のごとし、まさにカレンダーの一枚が特急電車の窓のように過ぎていく感じです。

私の大学卒業は昭和44年、高度成長期の真っ只中でした。東京の生活は嫌いでしたので、故郷茨城に戻るには、抵抗はありませんでしたが、父が公務員であり、母はいつも安給料で不満でした。しかし父の根強い説得で茨城県に入庁しました。建築士の資格を取ったら独立しようとの思いからです。当時は大学の同窓会に行くと、一流のゼネコン、設計事務所の人が多数降り、公務員は肩身の狭い時代でした。しかし建設省から来たある課長の話で、「我が意を得たり」とそれからは、堂々と公務員を誇りに思い仕事が出来ました。その一言は、「私は街作り、面整備がしくて公務員になった」という公務員になった明確な意図がありました。私も建築単体より、それらを取り巻く環境が不可欠、住宅だったらその2倍の金を庭にかけよ、とのようなものかな（自分流です）との考えです。中学時代から我が町の地図を見ながら勝手に都市計画をしていました。本当の街作りはローマ時代や秀吉のような権力者でないと出来ないとの話も良く聞きました。

思い出は沢山ありますが、まだそれほど知名度がなかった磯崎新氏（デビュー作ともいえる学園センタービル（そのとき、建築確認で私も関係した）の設計者）を建築士会で招き講演会を開催しました。最後の質問の時、ある人が「先生、設計で金儲けをするにはどうしたらいいの」との問いに「即刻、建築士を廃業せよ」との回答を良く覚えています。

建築士会の皆様とは、県庁の部屋で残業をし、同じ弁当を食べ、会計検査等にも大変お世話になり（この件はあまり詳しく言えませんが）、大変失礼ではありますが準公務員とも思っておりました。まあ、いい時代でしたかね。

私は昨年で固定の仕事はやめました。今後とも建築士会に幸有らんことを祈願しております。



||||| ≡ architect office
≡ ||||| **scale**



homepage

株式会社 scale 一級建築士事務所 代表取締役 関 康彦

〒310-0912 茨城県水戸市見川2-87-2 Tel. 029-246-6381 Fax. 029-246-6382

mail. info@a-scale.com web. http://www.a-scale.com



笠間工芸の丘（カフェ増築完成予想図）

OOMA 株式会社 大山都市建築設計
Oyama Office for Metropolitan Architecture
<https://ooma.co.jp>

〒309-1106 茨城県筑西市新治1996-56
TEL. 0296-21-7005 FAX. 0296-21-7006
E-mail: info@ooma.co.jp

OOMA-MITO 水戸設計室
〒310-0041 茨城県水戸市上水戸3-5-15-102
TEL. 029-291-6340 FAX. 029-291-6341

Welcome *Freshman!!*



高橋 宏祐 32歳
支部名：筑波支部

- ①高橋 宏祐 32歳 筑波支部
- ②大学卒業後～都内のゼネコンに勤務、2018年～高橋建築設計事務所
- ③つくば市在住、週末は子供たちと過ごし体を動かすのが好きです。
- ④多くの方々との交流や建築に対しての知見を深めていきたいです。
- ⑤講習会や現場見学会
- ⑥設計を通して地域貢献していきたいです。

- ①齋藤 勉 55歳 ひたちなか支部
- ②ムクリノ建築デザイン事務所 住宅設計・各種申請
- ③木のぬくもりが伝わってくるような住まいを提案してます。
- ④知見を広げたいと思います。
- ⑤講習会
- ⑥折り返し地点を過ぎてしまいましたが。



齋藤 勉 55歳
支部名：ひたちなか支部

人とふれあう豊かな街づくり



DAIICHI
SEKKEI

株式
会社

第一設計

代表取締役 山田 博則

写真：国営ひたち海浜公園

【本 社】〒312-0023 ひたちなか市大平 3-5-3
TEL：029-274-3056 FAX：029-274-4604 E-MAIL：daiichi@intio.or.jp
URL：http://www.daiichi-design.jp

①氏名・支部

④入会の目的

②勤務先

⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動

③自己紹介

⑥建築士として将来の目標



高島 裕稀 30歳
支部名：筑波支部

①高島 裕稀 30歳 筑波支部

②株式会社須藤設計

③この度、茨城県建築士会筑波支部へ入会させていただきました高島と申します。
よろしくお願いいたします。

④建築士会の様々な活動を通じての建築に関する知識や能力の向上、多くの方々
との交流等を目的に入会させていただきました。

⑤現場見学会や講習会等に参加させていただきたいと思います。

⑥建築に関する知識を深めて、多くの方々の役に立てるような建築士になれるよ
うに日々努力をしていきたいと思っています。





安心は、スピードだ。

エレベーターは、社会の大切なインフラだから。
日立ビルシステムは、もしものときも、
すぐに対応できる体制を整えています。



HITACHI
Inspire the Next

 **株式会社日立ビルシステム** 「人・ビル・社会」に新たな価値を。
関東支社 〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73 TEL：029-221-5117

第35回
住生活月間功労者表彰
国土交通大臣表彰



小沼 隆志 氏

(県央支部)
株式会社玄設計

令和5年度
茨城県表彰
功労者表彰(個人)



小室 晶 氏

(県央支部)
有限会社汎連合設計

令和5年度 連合会会長表彰



小笠原 正裕 氏

(県庁支部)



内芝 良吉 氏

(鹿島支部)
株式会社鹿島テクノス



土井 金哉 氏

(北相馬支部)
山王建設株式会社

「常総市、 境町周辺施設見学会」

令和5年12月2日、5年ぶりに支部見学会を行いました。行先はなかなか行く機会の少ない常総市、境町です。

常総市むすびまち1番地「食農楽のむすびまち 輝くえがおをつむぐ駅」素敵な地名とワクワクするキャッチフレーズを掲げた「道の駅常総」。2階建ての広々とした建物の南側の大階段を昇りまずは食のテーマパークいちおしの200席の大食堂へ。那珂湊市場の海鮮丼もよいのですが常総の海鮮丼もテーマ通りころほくほくのおいしさです。昼食には早すぎる時間で食堂内は混雑していませんでしたが、退出時には食堂エントランスが大渋滞状態。出入口、メニューの展示、券売機までの動線に工夫があれば待ち時間も過ごしやすいかと。また2階の女子トイレブースが3ブースでは対応に不足かなとか。食の満足感があればこそちょっと残念な感想です。思い思いの食を堪能し次の目的地、境町に向かいました。

近年、たびたび話題に取り上げられている境町へということでこの見学会が企画されました。利根川沿いにかつては河川舟運により繁栄したまち。「道の駅さかい」はその名残のように利根川を渡る境大橋のたもとに立地し、目についたのが白壁の蔵造りの建物。お店からは「いいとこさかいまち〜」のリズミカルなテーマソングが聴こえます。隣接して2019年4月にオープンした隈氏設計による町営のレストラン「茶蔵」があります。県産材の杉を用いてお茶を育てるプランターをデザインしたファサードが特徴的です。ポットに猿島茶の木を植えてファサードを飾っているらしいのですが、お茶の木より枯れた雑草が目立ってしまう季節なのはしかたない。



道の駅さかい

茶蔵の駐車場は自動運転バスの発着場でもあります。10人ほど乗れる可愛い車体で乗っても外から眺めても町のマスコットの存在でしょう。

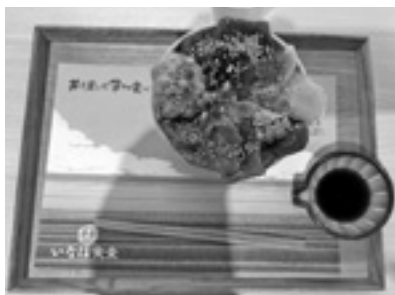
かつてはにぎわったであろう河岸の商店街を進むとS-Gallery（肅祭寶美術館）、つづいてS-Lab（境町地場産品研究開発施設）道をはさんでS-ブランド（HOSHIIMONO100Café）があります。会員と共に建物を見学し、あーだこーだと感想を言い合いながら散策することも普段の活動にはない楽しみです。

帰路の途中、境町アーバンスポーツパーク、境町ニコニコパークを見学しました。総合運動場に隣接したくさんの子どもたちが活動する姿が見られました。S-WORK+KIDSも含めて子供を中心とした施設の整備がすばらしく、ニコニコパークでは大勢の幼児から高学年の子供が自由なかたまりをつくり遊ぶ様子は里山で群れて遊びまわった子供時代を思い出します。町の雰囲気はとてよく、いい街だと感じました。カフェになっているモンテネグロ会館では入口に“内部見学どうぞお気軽に”の立て札があったり、子供たちが声をかけてくれて行く先を教えてください、まちの人々の気づかいとやさしさを感じました。

車窓から眺める夕暮れの川や耕土が美しく、直売所の立派な冬野菜が目につきました。5年ぶりの見学会も参加すれば有意義な楽しい一日でした。



さかい河岸レストラン「茶蔵」



道の駅常総とろとろ丼



境町自動運転バス



イタリアトスカーナ州オルチャ渓谷の田園風景

第111回建築セミナー 「世界遺産オルチャ渓谷・ありきたりの文化的景観」



うえだ さとし
一級建築士事務所風の記憶工場主宰 植田 曉 先生

11月15日の第111回建築セミナーは講師に植田曉氏をお招きして開催されました。

オルチャ渓谷はイタリアのトスカーナ州シエナ県にある、オルチャ川を中心にひろがる緩やかな盆地状の渓谷です。美しく広がる田園風景は初めからあったわけではなく、元々の痩せた土地を何百年もの年月をかけて人の手によって造られました。実際に行くと「なんてこと無い自然の風景」が広がっているそうです。現在では葡萄の栽培が盛んにおこなわれています。

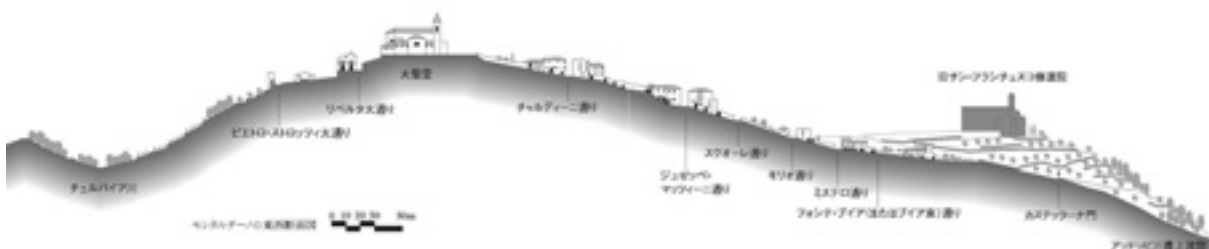
今回のセミナーでは、オルチャ渓谷の「ありきたりの景観」をどう読み解くかをテーマに、植田氏が定期的に行っている現地調査やフィールドワー

クを通しての研究内容、オルチャ渓谷の魅力と保全方法、また「ありきたりの景観」がなぜ世界遺産に指定されたかを講義いただきました。

世界的にもほとんど取り組まれていなかった「田園のまちづくり調査」に取り組まれている植田氏の研究は、イタリアだけでなくこれからの日本の地方都市のまちづくりにも活かせるものと感じました。



参加者は30名以上、質疑応答も活発に行われました。



モンタルチーノの東西断面図



「東京 お台場 パナソニックセンター 東京・そなエリア東京・浜離宮」見学会

2023年11月23日（木）勤労感謝の日

秋晴れの祝日に15名の参加で豪華なサロンバスで波崎スタート「いたこ道の駅」で全員合流して出発。午後の公共施設見学のため、車中も昼食時もノンアルコール対応。

- パナソニックセンター東京は企業の製品展示のない環境対策取り組みを学習・・・
ランチは「メヒコ東京ベイ有明店」でエビピラフランチ
- 午後は「そなエリア東京」で防災体験、地震災害後の支援が少ない時間を生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアー「東京直下72h TOUR」に参加し、被災地や避難所の様子を再現した実物大のジオラマ展示でタブレットでの質問回答しながら72時間の生き方を・・・

- 少し移動し、特別史跡、特別名勝に指定されている夕方の「浜離宮恩賜庭園」を散策。

夕食はヒルトン成田テラスレストランでのバイキングメニュー+やっとのアルコールで親睦を深めました。

- 研修会の案内しおりがLINEメールソフト「旅しお」で作られて送られてきたのには、驚きと感心しました。色々進化していますね。
- 建築士会の研修では施設見学が多いのですが、今回は体験型の研修としてヘリポート隣接の東京お台場防災公園でした。「東京ビックサイト」の近くで他のイベントもあり沢山の人が出ていました、もし大地震や大津波が今起きたら、と思いながらも・・・

予約でいっぱいのところ、女性案内人付の見学会で貴重な体験ができました。

いきいき未来へ
For our active future

コスモ総合建設株式会社

本社 〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2-13-2
TEL.029-248-5358 代 FAX.029-248-5377





<http://www.cosmo-ac.co.jp>

コスモ総合建設 検索



建築士会の 認知度アップと 会員拡大の種まき

11月11日(土)、12日(日)
「しもだて商工まつり」にて

将来建築士を目指してほしいという思いで、主に子供たちを対象にヒノキ丸太をノコギリで切りやすりで磨くコースターづくりのワークショップを行いました。ワークショップに参加した84名の子供たちに「目指せ建築士! 会員証」を配布し、10級建築士になってもらいました。SNSへのリンクQRコードから今後のイベントへの参加を促す仕掛けも作りました。

現在、会員拡大として建築士の資格を持っている人に入会してもらうことは、難しいことです。建築士を目指す人達にアプローチして建築士会のファンになってもらい、建築士となったときに建築士会に入会する。そういう流れを作れたらと思います。参加した子供たちが建築に興味を持ち建築士になってくれたらと願ってやみません。



また、認知度アップの合言葉を言ってもらい、2日間で100本の苗木をすべて配布することができました。





常総ふるさとまつりに参加して

令和5年11月23日、常総市ふるさと祭りに建築士会常総支部として「建築士会」をアピールしながら参加をしました。

今回は前回までの開催場所とは変わって、更にブースの大きさもテント一張りとは昨年と比べてかなり狭い中での出店でしたが「木工教室」と「無料住宅相談」を行いました。木工教室コーナーでは「けんちくしと遊ぼう」と題し小学生以下を対象にスタッフがマンツーマンでの対応を

しながら今年度の作品（ティッシュBOX）を作成しました。

無料住宅相談コーナーでは無記名でのアンケートをしていただいた方に苗木を配布いたしました。アンケートの内容は「建築士の認知度」、「建築士の業務内容の理解度」等の調査を含めた内容でしたが、今回のアンケートでは、約9割の方が建築士の資格・存在を認知しており、約8割の方が建築士の業務内容をほぼ理解しているという集計結果でした。





建方実演・模擬上棟式

上棟式のことを別名「建舞」とも言います。建主がうれしくて踊りを踊ったのか、大工の棟梁の動きが、舞を舞っているように見えたのかもしれません。

今では見かけることが少なくなってしまった、上棟式。ある小学校の先生から、子供たちに日本の伝統文化の上棟式を見せてあげたいけど、何か方法はありませんかという相談がありました。そこで私たち石岡支部では、組み立てバラシが何度もできる、模擬上棟式用建物を作りました。

石岡商工会議所から、お誘いがあり、令和5年5月28日（日）石岡市運動公園で開催された「石岡ふれあい祭り」でメインの事業として、建方実演と模擬上棟式をお披露目しました。ただ餅を撒くだけの上棟式ではなく、土台を敷き、柱を立て、梁を架ける実演を見てもらいながら、材の名前や言葉の由来などの話をさせていただきました。例えば柱などに書いてある番付。「いの一番」から建て始まるので、物事の始まりを、いの一番という語源になったなど。

また、上棟式に使用する、五色の旗、七五三の御幣、飾り付ける女性の七つ道具、鶴亀の破魔矢など、の話をしました。

上棟式は、上棟が無事終わり、家が無事完成することや家の繁栄を祈願します。また、重機のない時代には、重い大きな材料を動かすので、ご近所さんや親戚などの大勢の人達の協力が必要でした。地域のつながりに感謝をする行事でもあります。上棟式で餅を撒くのは、お祓いだけでなく、富の分配や地域への感謝が詰まっています。

ちなみに、餅を入れる竹かごを「ひげこ」といいます。ウラジロガシの葉を敷き詰め、餅を入れました。米を上げ下げする竹かごを「箕（み）」といいます。どちらも上棟式には必需品ですが、絶滅危惧種で Finder ののに苦労しました。

組み立てバラシが何度もできますので、呼んでいただければ、全国どこでも建方実演と模擬上棟式をお請けいたします。





高橋商事株式会社

代表取締役 高橋 正光

■本 社

〒311-1115 茨城県水戸市大串町952-4番地
TEL.(029) 269-3066 (代) FAX.(029) 269-4130

■営業所 大洗インター SS (LPG 事業所)

〒311-1115 茨城県水戸市大串町957-1番地
TEL.(029) 269-2135 FAX.(029) 269-5577

—— 営業御案内 ——

工事部

- ・上・下水道工事設計施工
- ・給排水衛生空調設備工事設計施工
- ・合併処理浄化槽工事設計施工
- ・機械器具設置工事設計施工
- ・土木・舗装工事設計施工

石油部

- ・石油製品販売
昭和シェル石油(株)販売店
- ・各種損害保険取扱
(株)損保ジャパン代理店

LPG部

- ・LPガス販売
- ・ガス関連商品販売
- ・ガス設備工事設計施工



伊勢甚グループは2024年10月1日に
創業300周年を迎えます。

伊勢甚グループ 水戸プラザホテル

〒310-0851 茨城県水戸市千波町 2078-1

Tel.029-305-8111(代表)



建設フェスタ2023報告



苗木無料配布

今年で29回を数える「建設フェスタ2023」が10月7日（土）ひたちなか市笠松運動公園屋内プール西側特設広場で開催された。

建築士会の参加は17回目である。昨年に引き続き今年も晴天に恵まれ、3連休の初日とあって多くの家族連れが訪れた。今年も建築士会、建築センター、建築士事務所協会の3団体が揃っての参加である。

昨年はコロナ禍の様子を見ながらの開催で、規模縮小を余儀なくされ、感染対策のためマスク着用はもとより、食事提供ブースや飲食のできる休憩テントもなかったが、今年は感染症法の5類に移行したこともあり、全てコロナ禍前と同様の規模で飲食もでき賑わいを見せた。

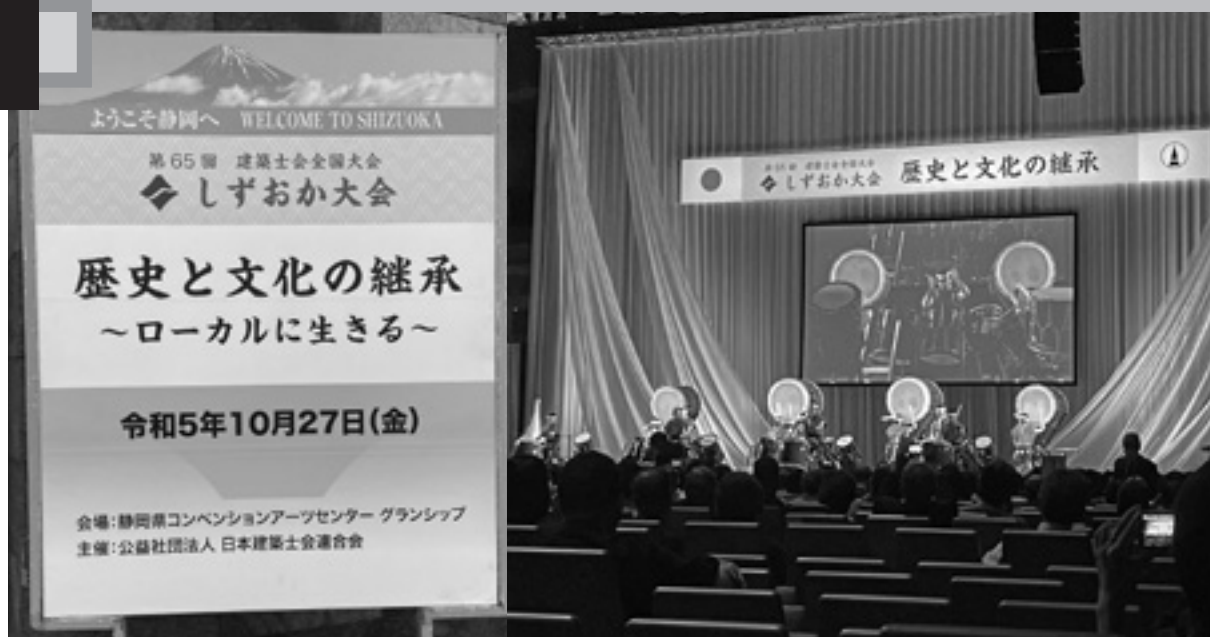
建築士会は本部のほか賛助会2社が参加した。本部催事は例年同様の苗木無料配布に加え、賛助会の（株）フジクリーン茨城は浄化槽の会社として、浄化槽の透明モデルや顕微鏡で微生物を見せた後にボールすくいでもスーパーボールのプレゼント。YKK AP（株）は景品が貰える射的ゲームで長い列を作っていた。苗木の無料配布については以前より建築3団体共におこなってきたが、例年の配布方法

は各団体とも午前・午後の2回に分け、苗木100本×2回の計200本配布し、それぞれ時間が被らないように30分づつずらして配布をおこなってきた。そして広く配布するために、1家族1本として取り決めていたが配布方法の問題点も出てきたので、今年は各団体同時間に一斉に配布するようにした。しかし結果としてはどうだったのか？来年の配布方法を再検討する必要があると感じた次第である。

主催者発表では来場者約15,000人とのことであるが、穏やかな天気の中、子供たちの歓声に包まれた一日であった。



長蛇の行列



第65回建築士会全国大会「しずおか大会」を終えて

令和5年10月27日（金）、晴天の下、静岡県静岡市のグランシップ静岡において、全国大会が開催されました。全国から約3,000人が参加し、茨城からは約100名が参加し3名の会員が表彰されました。

受賞された会員の皆様は右記の通りです。

令和5年度	連合会会長表彰者
小笠原 正 裕	（県庁支部）
内 芝 良 吉	（鹿島支部）
土 井 金 哉	（北相馬支部）

3名の皆様、誠におめでとうございます。



浜松市マスコットキャラクター
出世法師直虎ちゃん



連合会長表彰
内芝氏

「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」 解説講習会

2023年10月12日茨城県市町村会館にて、河原典子先生をお招きし「浸水被害住宅の技術対策マニュアル」解説講習会を開催いたしました。

近年台風等による大雨による水害が多発しています。9月7日から9月9日の台風13号に伴う大雨では、日立市、高萩市、北茨城市等に大きな被害をもたらし、県内の住家被害で、全壊4棟、半壊566棟、床上浸水39棟、床下浸水941棟、非住家においては床上浸水202棟、床下浸水57棟が被災しています。災害ボランティア活動人数(活動件数)

としては、日立市2,310人(261件)、高萩市2,041人(305件)、北茨城市1,330人(206件)が報告されています。(10月10日茨城県災害対策本部調べ)

今回の講習会は、災害対応と被災住宅復旧を目的に、日本建築士連合会の災害対策委員会が、体験データを集めて実用的なマニュアルにまとめたものの解説でした。マニュアルは被災者、ボランティア、行政、建築士、建築技術者、など様々な方が使えることを前提に作られています。

講習内容としては、第1章 マニュアルの考え方と利用方法・応急処置での基本的な注意事項、第2章 被災住宅の応急処置と応急復旧工事、第3章 被災住宅の相談窓口業務、第4章 被災住宅の応急復旧体制の提案についての説明があり、最後に受講者



講師：神奈川士会 河原先生

からの質疑をいただきました。

特に、建物の復旧が可能か不可能かを見極めること、応急復旧の「キモ」がカビ発生の防止であること、補修に併せて耐震性や断熱などの機能向上の提案など、建築士や建築技術者としての役割について興味深いものでした。また相談員として「災害救助法」「被災者生活再建支援法」その他行政独自の支援制度等の知識を持ち、被災者に寄り添い話を聴くなど、被災者支援の心構えと配慮についても実例を通しての説明がありました。

災害支援は建築士や建築技術者が、技術ボランティアとして、法を含めた情報の知識を持ち、地域や行政と連携し協働することが重要であることを強く感じました。



角川武蔵野 ミュージアム見学・ 川越市散策

第30回目となる日帰り見学会が、11月3日（文化の日）に開催されました。

今回の見学場所は、埼玉県の所沢市にあります角川武蔵野ミュージアムと、小江戸川越市の自由散策のプランとなりました。

まず午前中は、世界的建築家の隈研吾氏がデザインを手掛けた、角川武蔵野ミュージアムを見学、古代の火山積層物が地表を突き破って出現した武蔵野台地をイメージして構想されたとの事で、まさしく台地に転げ落ちた「巨大な岩」と言っては過言、外観の大きさやデザインにとっても圧倒されました。

また館内は図書館と美術館と博物館が融合する文化複合施設との事で、特に「角川」ならではの施設の1つとして、本の多さにびっくり。とくに4階中央にある「ブックストリート」や、高さ10mの本棚に囲まれた「本棚劇場」などリアルとバーチャルの行き来を体験出来る魅力的な空間となっており、とても感動した施設見学となりました。

その後川越市へ移動し、「初かり亭」にて楽しみの昼食。その後は小江戸川越の街並みを自由散策となりました。3連休のためか観光客の方が大変多く、川越の町も大勢の人で賑

わっており
ました。ス
イーツなど
を食べ歩き
するのも楽
しみの1つ
ですが、や

はり建築に携わっている私達としては、なんと言っても古き時代の建物を見学するのが最大の楽しみであり、癒しになりました。

午前中の角川武蔵野ミュージアムは近代的な最先端の建物、そして午後からは江戸の面影・情緒・風情を今に残す川越市の古き街並み。1日でタイムスリップしたような感覚になりました。

つかの間の楽しいひと時もあっという間に時間が過ぎ、大変素晴らしい天候の下、無事に見学会を終える事が出来ました。

今年も多くの賛助会員企業様より協賛金を提供していただきました。

本当に有り難うございます。

また来年も開催した折には、多くの方々に参加をしていただきたいと思います。



協賛いただき
ありがとう
ございました

(株)菊正塗装店
(株)高正建設
(株)塙商事
暁飯島工業(株)
柳澤工業(株)
(株)フジグリーン茨城
(株)染野製作所

(株)角藤 水戸支店
三和シャッター工業(株)
茨城県鉄筋業協同組合
ミナト防災通信工業(株)
YKK AP(株) 水戸支店
(株)日立ビルシステム

応急危険度判定士養成講習の開催

応急危険度判定士養成講習が令和5年9月29日（金）に茨城県庁9階講堂にて開催されました。受講者は64名（新規56名）で一般会員と共に行政の職員が多く参加していました。

これまでの判定活動として、直近では熊本地震にて茨城県からも行政から判定士が派遣されたとのこと。もし茨城県で大きな地震があった時、自分住む地域の場合自らが被災者となり判定活動に参加できない可能性があります。そのような場合周辺の県から応援派遣が必要になることでしょうか。県の方針としては2,400名の判定士を養成することを目標にしているとのこと。まだ講習を受けていない有資格者は毎年開催していますのでぜひ受講をお願いいたします。

講習は川又先生による木造住宅の判定方法、次に斎藤先生によるRC・SRCの判定方法の講習と2部に分かれています。テキストとスライドを参照しながら項目のひとつひとつを学んでいきました。

判定活動に関しては内容的に難解な部分は多くないと思いました。しかし、実際に被災現場に行き判定活動をするにあたっては被災した方の住宅を判定するということの難しさや緊張感が感じられました。罹災証明のための調査とは違うという事を住民に理解いただき、余震などに対し住民に危険が及ばないようにするための判定であることを理解していただく必要があります。被災地では多くの建物を限られた人数で判定することになると考えられますので、機械的に判定の紙を張るだけでなく、地域住民との



コミュニケーションも重要になることでしょうか。

講習の最後には東日本大震災でのテレビ放送をまとめたものと県内の被災状況をまとめたビデオの上映がありました。緊急地震速報の音と津波の動画、原発の爆発シーンは今もって身震いします。県内の被災状況、津波、液状化など12年前を思い出しました。しかしこれから判定講習を受ける若い20代は子供の頃の記憶としてだけで県内の被災状況など詳しくは覚えていないことでしょうか。この講習を通して被災の記憶・記録の継承をしていくことも重要だと感じました。

日本において地震や津波、台風などの自然災害は避けて通れないものとなっています。災害は忘れた頃にやってくるという言葉通りいつかまた自分たちの地域が襲われるかもしれません。様々な備えのひとつとして応急危険度判定士の訓練も必要だと思いました。





信頼と安心の住まいを目指す 一般 茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- ☆ **「WEB 申請」**を行っております。
- ☆ 当センターのご利用の多いお客様には
「建築確認手数料の後納制度」があります。
- ☆ **「レターバック等にて確認申請」**を受付けております。
確認引受書と併せて新しいレターバックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲

- 全ての建築物の確認(ルート2審査対応)、中間検査及び完了検査
- 建築設備、工作物の確認及び完了検査
- 仮使用の認定手続き

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険(統括事務機関)住宅保証機構(株)
- あんしん住宅瑕疵保険(取次店) ㈱住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険(取次店) ㈱日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険(取次店) ハウスプラス住宅保証(株)

3 フラット35適合証明業務

- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施行がされるよう第三者機関(当センター等)による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期使用構造等確認業務

6 低炭素建築物技術的審査業務

7 BELS 評価業務

8 省エネ適合性判定業務

9 省エネ関連技術的審査業務

10 構造計算適合性判定業務

<http://www.ibakenju.or.jp/>



一般 茨城県建築センター ※営業時間／平日午前9時～午後6時まで

お問い合わせは

■本部事務所(水戸市)
〒310-0852
茨城県水戸市笠原町978-30

TEL.029-305-7300 FAX.029-305-7310

■県南事務所(つくば市)
〒300-2655 茨城県つくば市島名2920
(万博公園西F28街区6)

TEL.029-886-3211 FAX.029-886-3212

■県西事務所(古河市)
〒306-0125
茨城県古河市仁連1921-4

TEL.0280-75-2600 FAX.0280-75-2603



一般社団法人 茨城県建築士会 会員の皆様へ

迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

令和6年1月

一般社団法人 茨城県建築センター

会長 柴 和伸
職員一同

とうかい子どもキャンパス 建築士と作ろう！ストリートファニーチャー



青年委員会では、昨年度に引き続き東海村教育委員会（生涯学習課）主催の「とうかい子どもキャンパス」に参加し、今年度は、建築が出来るまでの流れを体験できるよう、身近な題材としてストリートファニーチャー（街中の家具）を製作する企画を実施しています。

第1回（6月10日）の設計編では、ガイダンスとして建築士の様々な仕事を紹介した後、フィールドワークとして展示場所を見学し、グループ設計に挑戦してもらいました。どんなものがあったら良いか子どもたちは考えるのに苦労していたようですが、東海村の名物（サツマイモ、ハニワ、古墳、卓球）をモチーフに独創的なアイデアが飛び出し、建築士のアドバイスのもと設計図が無事に出来上がりました。

第2回（10月7日）の工事編では、事前に建築士

が施工図を起こし、材料の調達や部材の加工を行いました。加工にあたっては、株式会社小池往建様（常陸太田市）、有限会社伊藤建設様（ひたちなか市）のご協力をいただきました。当日は、子どもたちに工具の使い方をレクチャーし、安全に配慮しながら部材の組み立てを行いました。自分たちが描いた設計図のとおり実物が出来上がる様子を見て、子どもたちは達成感を味わうことができたようです。

第3回（1月20日）の完成編では、塗装等の仕上げ作業を行い、いよいよお披露目となります。完成後は、歴史と未来の交流館に展示し、実際に使っていただけることになっていますので、皆様にも足を運んでいただけたら幸いです。また、今回の企画が、子どもたちにとって、建築士という職業を身近に感じられる機会となれば嬉しいです。

屋根から床まで材料の販売と工事

富山建材 株式会社

茨城県水戸市大塚町 1445-3

TEL. 029-251-8111

FAX. 029-251-8131

うしく土曜カップ塾 おうち模型で「まちづくり」

令和5年10月21日に牛久第二小学校で開催されたうしく土曜カップ塾において、おうち模型で「まちづくり」を実施しました。

この講座はおうちバコやダンボールを利用し、「まちづくり」を楽しく体験するという活動になります。

今回は牛久市を4つのエリアに分けた土台の上に、参加した3～6年生16名が、各々思い描く理想のまちを楽しくつくりました。

限られた時間の中、必要な施設を考え、おうちバコや段ボール、竹ひごを上手に使い、様々なアイデアが生まれつくられたまちは空港や観覧車、展望台、オブジェなどバラエティに富んだ楽しいまちとなりました。

子供たちみんなが集中してまちづくりに取り組み、イベント後には、「また来年もやりたい」と言っている児童もいて、市の担当者からも、とても良い講座だったと言っていました。

自分達の住むまちを舞台とし、「まちづくり」を行うことで、建築士という職業に触れながら、住んでいるまちに対する興味や愛着、また、みんなでまちをつくることによる協力意識を育むことが出来たと思います。



完成したまち1



完成したまち2



作業中の様子1



作業中の様子2



「飲食店を計画する時に必要なことを知る」

■土浦支部 橋本 珠美

土浦保健所衛生課 大沼佳子氏、茨城アイホー調理機(株) 山崎真志氏のお二人を講師としてお迎えしました。

大沼先生より

飲食店営業許可を受ける為の計画ポイントはもちろんのこと、それを求められる理由と必要性（危険性）を講義いただきました。私たちの日常に起こり得る食中毒の怖さには驚きましたが、また同時に驚く受講者の多かったことより、このような衛生講習を普段から受けるべきなのではないかと感じました。山崎先生からは、

写真と図面を使い、数多く手掛けてこられてきたプランニングの紹介と、今までに起こったNGポイントや今後に生かせる注意点を教えていただき、受講者の多くは惹き付けられた内容だったように思います。

講義終了後も個々の質疑に対応していただき、短時間の講習ではありましたが、得ることの多い時間となりました。

両講師曰く、飲食店を計画する時にはまず、「管轄の保健所にて相談をすることが必用」ということでした。

9月21日、13名参加。



建築設備設計・監理 (一社)茨城県設備設計事務所協会加盟



株式
会社

菊地設備設計事務所

代表取締役 菊地 繁

事務所／〒310-0031 茨城県水戸市大工町3-4-24

TEL 029 (227) 2725(代)

FAX 029 (227) 2744

「蓄熱」の 考え方を知る

■土浦支部 江ヶ崎 雅代

自然エネルギーをいかしCO₂削減を目指す社会において、建築に求められる社会的役割もますます大きくなっています。太陽エネルギー社会に向け、太陽光パネルと蓄電池に頼るだけでよいでしょうか？10月の

わくわくセミナーでは、熱環境プロデューサーとして活躍されている株式会社イゼナの前田朋子さんを講師にお招きし、太陽光エネルギー社会に向けた「水蓄熱」のあり方についてご講義いただきました。

まず、温室効果ガスの排出をしない、快適な建物づくりについてお話いただく中で「蓄熱」という手法を知りました。そして、コンクリートより「水」の方が熱容量が大きく、自然対流の特性をい



「水蓄熱アクアレイヤー」敷設イメージ

かせば、「水」がとても高効率で快適性の高い蓄熱媒体になるとのことです！「水」を蓄熱層とし、輻射冷暖房の媒体として使用する、「水蓄熱アクアレイヤー」を取り入れた様々な事例もご紹介いただき、住宅だけでなく、福祉施設等での活用も進み、騒音解消や備蓄水としての利用など、様々な可能性を秘めた「水蓄熱」のあり方を学ぶことができました。



セミナーの様子



水の自然対流の実験映像

空気調和・衛生設備・設計施工

＜最適環境を提供する＞



清和工業株式会社

代表取締役 岡 衆司

本社 ■水戸市東野町140-4 TEL029-248-2413
 日立営業所 ■日立市東多賀町2-10-40 TEL0294-36-0481
 土浦営業所 ■土浦市中貫1911 TEL029-832-4780
<http://www.seiwakogyo-web.co.jp>

女性委員会（わくわくセミナー）

「これからの法改正」

■ 筑波支部 若柳 綾子

11月21日（水）夜7時から「これからの法改正」と題し、17名のご参加を頂いて実施しました。

省エネ法や建築基準法の変更など、業務に身近な内容でもあり普段よりも多くの方にご参加いただきました。

講師の先生は、茨城県建築センター県南事務所所長代理の横川清様をお願い致しました。

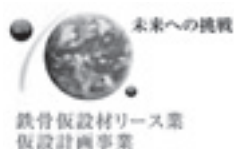
2022（令和4年）年6月に公布された「脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律」（令和4年法律第69号）により、建築確認・検査対象の見直しや審査省略制度（いわゆる「4号特例」）の縮小が措置され、建築主・設計者が行う建築確認の申請手続き等が変更されます。

国交省等から発表されて間もない情報を基にセミナーを行いました。

当日は、丁寧な資料を基にご説明頂きましたが、wi-fiの状況が悪くなって少々戸惑いました。

時間が限られていたので、主に変更内容の概略をご教示いただき、どの内容にしても別にセミナーが組まれているので、そのご案内を頂きました。

皆様、とても真剣に受講されており、是非今後の業務に役立てて頂きたいと感じました。また、具体的な説明会が今後、建築士会や事務所協会などで開催されると思いますので、希望者はぜひ受講頂きたいと思います。



MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社 **松本 総建**

— **特定建設業** —

代表取締役会長

松本 一幸

茨城県知事許可（特-04）第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2
TEL 029-295-7715（代）
FAX 029-295-6548

本社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5
第一機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉407-1
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1

《 営業内容 》

■ 枠組足場工事
■ 建築土工事

■ 次世代式先行手摺足場工事
■ 足場提案企画

■ 鉄骨建方工事





「廣澤美術館見学&美術鑑賞のコツを学ぶ」

■ 県央支部 石黒 洋子

ザ・ヒロサワ・シティをご存じですか？100万㎡の広大な敷地に隈研吾設計の「廣澤美術館」2021年1月開館。6000 t 1500個の「石が主役の美術館」。巨石で建築を消す試みとか？まるでお城の石垣！

そこへ11月18日（土）晴れの日10：00電動ゲートが開き集合。

橋本空樹（はしもとうつき）板谷波山学芸員の解説で、絵画の鑑賞コツ・マナー等を、「メモを取るのは鉛筆のみ」とかの、レクチャーして頂き画家「鶴岡義雄」の「舞妓」「マドモアゼル」の本物を感動しながら拝見しました。

建築的には三角平屋、建物を囲む3つの庭、「浄（きよら）の庭」「炎（ほむら）の庭」「寂（しじま）の庭」に囲まれてかつ、静かな池も素敵でした。

人間国宝館で陶磁器・石の美術館・木彫り彫刻も付属棟では蝶やクワガタのコレクションも。

ランチはアートカフェ・フローレで絵画と素敵な器で予約のパスタをおいしく頂きました。女性10人男性5人（ランチは3人）の参加でしたが楽しいひと時でした。

午後は「ゆめのば」を案内頂きました。新コーナーとの事。

ゼロ戦やYS11にシコルスキーヘリもエンジン開放、操縦席でパイロット気分を・・・

屋外には新幹線・D51・寝台特急「北斗星」の特別室も（宿泊も可能になるとか？）連なる建屋には、消防自動車博物館・クラシックカー・クラシックバイク・・・ミニカー・飛行機模型・世界の救急車のすべてが見れるコーナーもありました。

「ゆめのば」の感動はすごい！の一言。他にもゴルフ場・農園・マラソンコース・・・

オーナー廣澤氏の発想やお金の使い方にはただ敬服するのみ！

さわやかな感動のいい1日を体験できました。おすすめです。

以上



営業品目

(貯留式かんたん測溝)

コンクリート二次製品全般

函渠型側溝フリードレーン
大型積ブロック
浮上防止型グレーチング

公園資材

防災用かまど
防災用ベンチ
防災用シェルター
インターロッキングブロック
遊具一式

下水道用製品

耐震性スーパー BOX カルバート
アーチカルバート
ヒューム管カーブ用推進管
マンホール鉄蓋

建築資材

PHC パイル
地盤改良材

地下につくる水空間。

プラスチック貯留材

クロスウェーブ

クロスウェーブは雨水の
有効利用を提案します。

流出抑制

開発事業にともなう流出抑制調整池
区画整理や造成などの開発事業にともない、地下調整池の施工に活用し、雨水をその土地内で流出抑制します。

雨水利用

生活用水・工業用水・農業用水
生活雑水としては庭への散水や洗車用の水、トイレ洗浄水に、工業用水としては工場での利水に、農業用水としては作物への散水をはじめ洗浄水にも利用できます。

防火用水

防火水槽・防火備蓄用水
貯水量 40 トンクラスの防火水槽から、貯水量 1 万 m³クラスの大きな施設にも十分対応でき、震災時の緊急生活用水や消火用水としても備蓄できます。



汚染土の仮置場処理対策製品
土木建築資材の総合商社

株式会社 **建友**

代表取締役社長 根本 学

本社 茨城県水戸市吉沢町 333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155
支店 茨城県鉾田市造谷 1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail: office@k-kenyu.co.jp

2018~2023



since 1967



SHIBA
ARCHITECT
OFFICE

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階
TEL 029 (227) 0222
FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>



webサイト